

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論Ⅶ （健康相談・家庭訪問）	4年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	佐藤 美恵子
授 業 概 要					
公衆衛生看護における個人・家族への活動技法である健康相談・家庭訪問について学ぶ。 また、個別支援活動から集団・コミュニティへの活動に展開する方法を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 健康相談の目的、対象、種類について説明する。 2. 健康相談のプロセスについて説明する。 3. 家庭訪問の目的、対象、種類について説明する。 4. 家庭訪問のプロセスについて説明する。 5. 個別支援から集団・コミュニティへの活動に展開する方法を理解する。					
実務経験のある教員					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	1. 健康相談 <ul style="list-style-type: none"> 1) 健康相談の目的、対象とその特性 2) 健康相談の種類・方法 3) 健康相談のプロセス <ul style="list-style-type: none"> ①企画 ②実施 ③アフターフォロー 2. 家庭訪問 <ul style="list-style-type: none"> 1) 家庭訪問の目的 2) 家庭訪問の対象、種類、特性 3) 家庭訪問のプロセス <ul style="list-style-type: none"> ①企画 ②実施 ③アフターフォロー 4) 初回・継続・緊急訪問および訪問拒否時の支援技術 3. 支援方法の選択と優先順位の考え方 4. 個別支援から集団・コミュニティへの活動の展開				外部講師
学 習 方 法					
講義、グループワーク 既習の知識を踏まえたうえで、個人・家族支援の具体的な展開方法を学習するため、学習内容に関連する既習の知識については、事前学習・自己学習が必要である。					
評 価 方 法					
科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 公衆衛生看護学.jp 荒賀直子 インターメディカル					